



みえ県議会 だより

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <https://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)

議会
ホームページ



スマホ版
議会だより



議会
Facebook



ひせつ
飛雪の滝(紀宝町)

～令和7年度当初予算などについて議論～ 令和7年三重県議会定例会 2月定例会議、3月会議

県民の命と尊厳を守るため「困難を抱える子どもへの支援」や「防災・暮らしの安全安心」などに重点を置いた令和7年度当初予算のほか、「三重県子ども条例」や「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の変更などについて審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 第9回全国自治体議会改革推進シンポジウムを開催、代表質問
- 2面～3面 一般質問、用語解説
- 4面 「出前講座」を実施しました、議員勉強会を開催、請願のオンライン提出が可能になりました、議場演奏会を開催、議員の辞職について、審議結果と主な開催実績

第9回全国自治体議会改革推進シンポジウムを開催



3月26日に、都ホテル四日市において「第9回全国自治体議会改革推進シンポジウム」を開催し、全国の67自治体の議会などから、254名の方にご参加いただきました。テーマを「議会改革の推進と女性や若者等多様な人材の活躍」とし、女性議員・若手議員・勤労議員などさまざまな立場から、多様な意見を反映する議会の実現に向けた取組事例や今後の展開などについて意見交換し、参加者との交流・連携を深めました。



大山礼子名誉教授(駒澤大学)の基調講演の後、大山名誉教授のコーディネートにより、奥野詠子議員(富山県議会)、吉田敬子議員(岩手県議会)、辻弘之議長(登別市議会)、辻裕登議員(四日市市議会)、稲垣昭義議長(三重県議会)によるパネルディスカッションを行いました。その後、三重県議会の取り組みとして、「議会活動計画」および「みえ高校生県議会」について報告を行いました。

※肩書は開催当時のものです

代表質問



知事のベトナム・タイ訪問の成果

服部 富男 議員 自由民主党／三重郡選出



問

知事は令和6年1月のタイ訪問に続き、令和7年1月にもベトナムとタイを訪問しています。ベトナム政府やハノイ工科大学と、外国人材確保や産業連携に係る覚書を締結したほか、県産品輸出促進のための市場調査等も行ったと聞いています。今回の訪問の成果を、知事に伺います。

答

今回の訪問では、16の団体・企業で構成する経済団とともに、人材確保・産業連携・県産品輸出・インバウンド誘客の4分野の促進のため活動し、ベトナム政府や大学と3本の覚書を締結するという成果がありました。また、タイでは、ビジネスマッチングや、現地百貨店での三重県フェアの開催、昨年覚書を締結したタイ旅行業協会との意見交換を行いました。両国ともポテンシャルが高い市場であるので、今後も交流を進めていきます。

その他の質問事項

- 災害時における歯科巡回診療
- 農業の持続的な発展 ほか



ビジネススクアラーへの支援の取り組み

日沖 正信 議員 新政みえ／いなべ市・員弁郡選出



問

高齢化や生産年齢人口の減少が進む中、ビジネススクアラーが増えており、介護離職も増加傾向です。働く人が安心して仕事と介護を両立するための、企業への支援はどのように進めていきますか。併せて、率先する立場である県自らの、職員への両立支援の取り組みについてもお聞かせください。

答

令和6年度は「三重県働き方改革推進奨励金」を創設して介護休業等の取得を促進したほか、アドバイザーによる休みやすい職場づくりのための伴走支援を進めています。令和7年度は短時間正社員制度の導入・促進のためのモデル事業を設け、国の取り組みとともに企業へ積極的に周知・啓発します。また県職員に対しては、所属長との面談等を通し、個別の実状に応じて適切な支援が受けられるよう、職場全体で支え合う職場づくりに取り組みます。

その他の質問事項

- 三重県子ども条例について
- 三重県におけるツキノワグマ対策 ほか

一般質問



大災害時の住民・地域の
孤立対策は

藤根 正典 議員 新政みえ／東紀州選出



問

東紀州地域や伊勢志摩地域では、大規模地震および津波により多くの集落が孤立する可能性があります。災害時の住民・地域の孤立対策においては、地元市町との連携・協力の強化が不可欠ですが、今後どのように進めていくのかお聞かせください。

答

孤立が想定される地域の実態調査を市町と共に行い、その結果を基に地区ごとの台帳を整備し、事前防災の取り組みや発災時の支援等に活用します。また、中山間部と沿岸部の2市町をモデル地域として、ドローンを活用した物資輸送の実証調査を行います。これらに加え、令和7年度当初予算において孤立地域対策も対象とする新たな補助制度を設け、市町の計画的な取り組みへの財政支援を行うなど、孤立地域対策に総合的に取り組みます。

その他の質問事項

- 未来へ継承する世界遺産熊野古道の保全
- 新日本フィル29市町巡回事業



放課後児童クラブの
待機児童解消に向けて

石垣 智矢 議員 自由民主党／いなべ市・員弁郡選出



問

全国の放課後児童クラブにおける待機児童数は増加の一途を辿っており、その根幹には、放課後児童支援員の不足があります。今後、必要なクラブの整備や人材の確保を着実に進め、待機児童の解消につなげるために、県としてどのように取り組むのか、伺います。

答

県では、放課後児童クラブの実施主体である市町を通して、施設の運営や整備に対する支援を行っています。また、放課後児童支援員の人材確保に向け、多くの方に認定資格研修を受講いただけるよう、研修の実施方法を集合形式からe-ラーニング形式に変更するとともに、利用ニーズが高まる夏休み前に研修を実施するなど、充実を図っています。今後も待機児童の解消に向けて、施設整備と人材確保の両面から支援に取り組んでいきます。

その他の質問事項

- みえ子ども・子育て応援総合補助金について
- フェーズごとの空き家対策



より高度な救命救急医療の
提供体制構築

今井 智広 議員 公明党／津市選出



問

令和7年度当初予算で計上している三重大学医学部附属病院へのドクターカー導入によって、三重県の救急医療体制をどのように充実させていきますか。また、ドクターヘリはバージョンアップを図るべきであり、ヘリ運航の基地病院と協議していくべきと考えますがいかがですか。

答

ドクターカーは、ドクターヘリが運航できない悪天候時や、患者の容態急変時の転院搬送で迅速かつ安全な搬送が期待できます。また、ドクターヘリは大型化や積載機器の充実によりさまざまな医療ニーズに対応できる一方、導入や運航のコスト増大や離着陸場所の制約が生じる等の課題があります。ドクターカー、ドクターヘリの効果的な活用について、基地病院や関係機関と協議するとともに、医療審議会で検討を進めます。

その他の質問事項

- 指定管理者制度における今後の対応
- 入札制度の見直し



これからの地域機関の在り方
～地域防災総合事務所と地域活性化局～

東 豊 議員 そうもう草莽／東紀州選出



問

県が課題解決に向けて的確に対応していくためには、地域機関にもっと権限と予算を移したり、市町や地域の声を聴く体制づくりを進めるなど、地域の課題解決に主体的に取り組めるようにする必要があると考えます。組織体制の見直しを含め、今後の地域機関の在り方を知事にお聞きします。

答

69の市町村が存在した市町村合併前と比べると、市町と本庁の距離は近いものになっていますが、地域機関の役割は依然として重要です。地域機関が市町に寄り添い、顔の見える関係を構築し、地域ごとに異なる課題を把握するなど、本庁と一緒に、広域性・専門性を生かした支援を行っていく必要があるため、今後も、市町に積極的に出向き、市町との関係を築いていきたいと考えています。

その他の質問事項

- 南海トラフ地震と津波への備え
- 効果的なインバウンド誘客



高校生の自転車乗車用ヘルメット
着用率の向上

世古 明 議員 新政みえ／伊勢市・鳥羽市選出



問

高校生の自転車乗車時のヘルメット着用率が低い理由は、「ヘルメット購入の費用負担」、「髪型が乱れる」、「努力義務だから」など、さまざまなことが考えられますが、ヘルメットは頭部を守り、命を守ります。高校生の着用率向上に向けた県の取り組みをお聞かせください。

答

県立高校の生徒のヘルメット着用率は、令和6年の調査で7.3%と低い状況です。着用推進のため、生徒同士が意見交換する三重県高校生バイシクルサミットを開催するなど、生徒が主体となる啓発にも取り組んでいます。また、令和6年度は校則にヘルメット着用を努力義務として記載する学校が1校から10校に増え、各校での取り組みも一層進んでいます。引き続き啓発等を行い、着用率の向上に取り組めます。

その他の質問事項

- 答志島架橋について
- 社会で悩みを抱える人への寄り添いについて ほか



「妊産婦のほっとスポット」とは？

松浦 慶子 議員 自由民主党／多気郡選出



問

妊産婦を支援する「妊産婦のほっとスポット構築モデル事業」について、令和6年度の予約枠は12月末にはほぼ満室となり、受け付けが中止されています。施設の稼働率や利用者の満足度が高いこの事業の概要と、今後、事業の充実に向けてどのように取り組むのか伺います。

答

令和5年11月に開始したこの事業は、津市と四日市市の2箇所の母子生活支援施設において、妊産婦が休息できる場所の提供や、助産師等による育児の不安に対する相談支援、指導などを実施するもので、利用者から好評をいただいています。令和7年度は、より多くの希望者に本事業を利用いただけるよう、予約方法などの改善を図るとともに、県南部地域での実施に向けて、検討を進めます。

その他の質問事項

- 女性の視点から防災を考える
- 太陽光発電施設の設置における問題 ほか

一般質問



探究学習の課題に
どう対応していくか

芳野 正英 議員 新政みえ／四日市市選出



問

探究学習は、思考力・判断力・表現力を養い、自ら学びに向かう力を育てることで学力の向上につながるもので、多くの学校が推進していますが、まだまだ課題があるとの声も聞くとこです。県は探究学習の課題についてどのように対応していくのかお聞かせください。

答

探究学習は、生徒も教員も「学習の質の転換」を意識して取り組む必要があります。生徒の主体的な取り組みを引き出すための学びのサポートとして、過去の研究事例のデータベース化を進め、手軽に閲覧し自身の探究活動の参考にすることができる環境づくりを推進するとともに、教員の指導力向上のために専門家による研修を実施するなど、今後も探究学習の充実に向けて、前向きで真摯な取り組みを積み重ねます。

その他の質問事項

- 能登半島地震を踏まえた災害対策
- 動きだせ！もう一つの駅前開発 近鉄富田駅周辺の道路整備 ほか



地域の守り手となる建設企業の
適切な利潤確保

田中 祐治 議員 自由民主党／松阪市選出



問

地域の建設企業は、災害時には「地域の守り手」として県民の安全・安心の確保にも取り組んでいますが、売上高経常利益率は産業全体と比べて低く、経営基盤の強化が課題です。建設企業の適正な利潤確保のため、入札制度の見直しを検討するべきではないでしょうか。

答

令和6年12月末時点の総合評価方式の入札結果では、技術評価点1位の企業が発注の77%を落札しており、社会貢献度や工事成績等も評価する総合評価の目的を一定達成しています。一方で、このうちの78%が調査基準価格および同等の評価となる金額での入札となっており課題も残っています。今後も引き続き、地域の建設企業が将来にわたり存続し続けられるよう、適正な価格で落札が可能な入札制度について検討・見直しを進めます。

その他の質問事項

- 道路陥没事故を受けて
- 動物愛護および管理について ほか



三重で芸術や文化の花を
咲かせるために

田中 智也 議員 新政みえ／四日市市選出



問

令和5年に制定された三重県文化振興条例に基づき、令和8年度までを計画期間とする文化振興計画が策定されています。その中で基本施策として定められている「文化活動への支援」は、地域の実情に応じ戦略的に捉えて進める必要があると考えます。知事の所見を伺います。

答

文化は民族・地域のアイデンティティであり、人々の基礎にあるものだと思います。文化に関する予算は潤沢ではありませんが、文化活動の支援としてアーツカウンシルなどは良い仕組みと考えます。三重県と人口規模が同じような自治体で、どのように文化活動への支援に取り組んでいるかを調べ、三重県に合った効果的な方法を進めていきたいと考えています。

その他の質問事項

- 科学捜査研究所棟整備について
- 豊かな伊勢湾を取り戻すには ほか



プロスポーツチームにおけるスポーツを
通じた地域活性化の取り組みへの関わりは

龍神 啓介 議員 自由民主党／津市選出



問

プロスポーツチームやプロを目指すチームの存在は、地域の活性化や競技力向上に資するものであり、県と市町が連携して支援することが重要だと考えます。プロスポーツチーム等に対する県の支援について、考えをお聞かせください。

答

スポーツを通じたまちづくりや活性化に向け、全国ではスポーツコミッションが核となって活動しており、県内では、志摩市や熊野市等でコミッションに近い組織がつくられ、さまざまな取り組みが行われています。スポーツコミッションの「人と取り組みをつなぐ」役割が地域の活性化に繋がっている全国の事例等を調査し、今後の県の取り組みに生かしていきたいと考えています。

その他の質問事項

- スタートアップ支援について
- デジタル推進局の体制について ほか



「複合災害」への対応

三谷 哲央 議員 新政みえ／桑名市・桑名郡選出



問

能登半島では大規模地震の後に豪雨が発生したことで複合災害となって被害が拡大し、災害対応が非常に困難になりました。気象災害は激甚化、頻発化しており、南海トラフ地震が梅雨や台風と重なると大きな複合災害が起きる可能性があります。県の複合災害への備えについて伺います。

答

能登半島では地震で緩んだ地盤に大量の雨が降り注ぎ土砂災害が発生し、地震のときの3倍以上の孤立集落が発生するなど大きな被害がありました。現在の県の地域防災計画では、地震と豪雨のそれぞれの対策は定めていますが、複合災害は想定していません。災害の前後で別の災害があったときにどう対応すべきかの議論を進めており、複合災害について県の計画の中でしっかりと考えていきます。

その他の質問事項

- 若手県職員の離職問題と新たな人材戦略
- 若い女性の県外流出を防ぐための対策 ほか

用語解説（1～3ページの「代表質問」・「一般質問」に関するもの）

① ビジネスケアラー

仕事をしながら家族等の介護を行う人のことです。

② 放課後児童クラブ

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る施設のことです。

③ 調査基準価格

「低入札調査基準価格」のこと。「契約の内容に適合した履行がなされないこととなるおそれがあると認められる場合の基準」として、落札額がこの基準価格を下回った場合には履行の可能性を調査することになっている価格で、履行可能性が認められない場合は落札者になりません。基準価格は算定式によって算出されます。

④ スポーツコミッション

地方公共団体やスポーツ団体だけでなく、民間企業（観光協会、商工団体、大学、観光産業、スポーツ産業等）などが一体となり、大規模なスポーツ大会等の誘致やスポーツを通じた交流促進を行う組織です。活動を通じて交流人口の拡大を図り、来訪者に対してまちの魅力をPRし、さらに地域における消費を促すことで地域経済活性化につなげることを目的とします。

⑤ アーツカウンシル

文化活動への支援の在り方の一つであり、行政と一定の距離を保ちながら、文化芸術施策の調査研究や企画立案、助言、人材育成や助成制度の運用など、地域の実情に応じたさまざまな支援を行う専門機関のことです。

「出前講座」を実施しました

県議会を身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を、学校からの申し込みを受けて実施しています。3月までに実施した、県立紀南高等学校（当時。現：県立熊野青藍高等学校紀南校舎）と大紀町立七保小学校での様子をお伝えします。広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使用しながら授業をしたあと、皆さんからのたくさんの質問に答えました。



県立紀南高等学校（当時）での講座の様子



大紀町立七保小学校での講座の様子

実施校募集

出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。主権者教育の一環としても活用してください。申込方法の詳細は、県議会ホームページをご覧ください。（実施日は、原則本会議や委員会等の開催日以外で調整します。）



出前講座のページ

新たに、ウェブからも申込ができるようになりました

出前講座Web
申込ページ



児童・生徒からの質問

- 議員を目指して一番大変だったことは何ですか？
- 仕事をする上で一番大切にしていることは何ですか？ など

議員勉強会を開催

3月21日、東京大学先端科学技術研究センターの廣井悠教授を講師にお招きし、令和6年度第2回議員勉強会を開催しました。昨年発生した「令和6年能登半島地震」では、揺れや津波、火災等による被害だけではなく、交通網の断絶、孤立集落が発生するなど、さまざまな課題が明らかになり、半島地域を有する三重県でも、これらの課題を踏まえた対策を求められることから、今回の勉強会では、「半島地域における防災・減災等」と題してお話いただきました。

勉強会では、半島地域に特有の災害対策として実施すべき取り組みや、人口減少等の将来起こる社会変化等を見据えた未来視点での対策の必要性について解説いただき、今後の防災対策について見識を深める機会となりました。



議員の辞職について

桑名市・桑名郡選挙区選出の小島智子議員から議員辞職願が提出され、3月31日の本会議で辞職が許可されました。これにより、3月31日現在、三重県議会議員は45人となりました。なお、令和7年9月7日に執行予定の三重県知事選挙の際に、以下の選挙区で県議会議員の補欠選挙が行われる見込みです。

桑名市・桑名郡、鈴鹿市、伊賀市

請願のオンライン提出が可能になりました

県政に対する意見や要望を、議員の紹介を通じて議会に提出できる請願について、令和7年4月1日から従来の書面による提出に加え、**オンラインによる提出が可能**となりましたので、ぜひご利用ください。

【利用手順】請願をオンラインで提出する場合は、議員を通じて議会事務局へご連絡ください。事務局からIDとパスワードを付与しますので、三重県電子申請・届出システムによりご提出ください。
【その他変更点】請願者の署名又は記名押印の要件を廃止しました。これまで請願書の提出時に求めていた署名又は押印が不要になります。
※手続きなど詳細は、三重県議会事務局にお問い合わせください。

議場演奏会を開催

【開催日時】令和7年3月31日（月） 9時20分から9時40分まで
【内 容】四日市市立内部中学校吹奏楽部による演奏

県民にわかりやすく、県民が参加しやすく、県民に関心をもってもらえる開かれた議会への取り組みとして、今回で3回目となる議場での演奏会を開催しました。当日は、中学生31人による4曲の演奏が披露されました。



審議結果と主な開催実績

審議結果

2月定例会会議（2月17日～3月21日）

可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案 ほか3件

可決した議案

予算

- 令和6年度三重県一般会計補正予算（第6号）
- 令和7年度三重県一般会計予算 ほか43件

条例

- 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案 ほか33件

その他議案

- 包括外部監査契約について ほか16件

同意した人事案件

- 副知事の選任につき同意を得るについて ほか3件

採択した請願

- フリースクールに通う子どもの保護者に対する助成制度拡大について

3月会議（3月31日）

可決した議案

- 三重県県税条例の一部を改正する条例案

選挙

- 選挙管理委員及び同補充員選挙

議員別の賛否等の状況
（PDFファイル）

2月採決分



3月採決分



開催実績

2月

- 17日 本会議 議案72件上程
- 25日 本会議 代表質問（2人）、議案に関する質疑（3人） 予算決算常任委員会各分科会 議案の審査、所管事項の調査
- 26日 伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会 条例の方向性等への意見について ほか
- 27日 本会議 一般質問（4人）、議案3件可決 予算決算常任委員会 議案の審査

3月

- 3日 本会議 一般質問（4人）
- 4日 本会議 議提議案1件上程、議案24件上程
- 6日 本会議 一般質問（3人）
- 7日 予算決算常任委員会 予算議案および予算関連議案にかかる総括質疑
- 10日～13日 各常任委員会・分科会 議案の審査、所管事項の調査 ほか
- 17日 伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会 条例の方向性等について ほか
- 18日 予算決算常任委員会 議案の審査 ほか
- 21日 本会議 議提議案3件上程・4件可決、議案93件可決、請願1件採択、人事同意議案4件上程・同意 環境生活農林水産常任委員会 議案の審査
- 31日 本会議 議案1件上程・可決、選挙管理委員及び同補充員選挙 予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会 議案の審査 予算決算常任委員会 議案の審査

※この他にも、さまざまな会議を開催しました

みえ県議会だよりは、年7回（4、5、7、8、10、12、2月の各月1日）発行します。

次の発行は、令和7年（2025年）7月1日（火）です。
（新聞折り込みは、令和7年7月6日（日）に行います。）